

連載中のきゅつきゅぼんさん町にがい旋

雑誌「ゲッサン(小学館)」で好評連載中の「Bowling-ボウイング-」を描く町出身のマンガ家・きゅつきゅぼんさんが1月6日にふくちのちを訪問し「きゅつきゅぼん展2019」を鑑賞しました。地元からの応援に「落ち込んだとき、また前を向かせてくれるクッションのような存在」とマンガ家らしい感性で感謝を表現しました。



↑期間中に投稿されたファンレターひとつ一つに目を通すきゅつきゅぼんさん。

↓英彦山青年の家のグラウンドで「来てよかった!」と無邪気に遊ぶ児童たち。



天に祈り通じた奇跡の降雪に歓喜

沖縄県中城村・福智町交流事業 兄弟都市・中城村が1月17日から3日間で福智町を訪問し、ホームステイや文化体験などを通して交流を深めました。事業の目玉である積雪体験は、前日まで「雪がない」と心配されていましたが、当日には祈りが通じたかのように英彦山は一面の雪景色。中城村の児童たちは初めて見る雪に興奮収まらぬ様子でした。

↓液体窒素とチョコで「巨大カブリコ」を作る実験動画は2月12日(日)に公開予定。



科学と動画で福智町の魅力を大発信

動画サイトで科学系YouTuberとして精力的に活動する市岡元気さんが1月26日に福智町で初ロケを敢行しました。実験に先立ち、町内の観光資源を見学した市岡さん。「この町でも毎月大規模な科学実験を行い、町に眠る魅力を継続的に全国へ発信したい」と抱負を語りました。



↓「初の決勝進出を目指します」と決意を示した順太郎さんと妻の真奈見さん。右は選考会出品作品。



九州一位で夢の舞台へ進出

「クラモト花店」代表の倉本順太郎さんが、10月に沖縄県で行われた九州代表選考会を勝ち抜き、国内最高峰のフラワーデザイン大会「2020 ジャパンカップ」への出場を決めました。作品持ち込みや即興アレンジなど総合的な実力が試される選考会を、細かい造形や高い技術が評価され首位で通過。4年ぶり7度目の挑戦となる全国大会は8月に名古屋で開催されます。

町村代表のランナーがたすきをつなぐ

「第54回田川郡駅伝大会」が12月15日に彦山川河川敷で行われ、6町村の代表にオープン参加を加えた11チームが寒気に負けず健脚を競いました。福智町は1区走者の今川将人さんが区間賞に輝くなどAチームの5人が快走。19.4kmを1時間17分38秒の好タイムでたすきをつなぎ、全体2位に入賞しました。



↑青い服でスタートした1区走者・今川さんが3.1kmを12分3秒で区間賞を獲得。

過去最多6町村の消防団員が集結

「田川地区消防団合同出初式」が1月12日に道の駅いとだ付近の広場で行われました。田川市と添田町を除く6町村が一堂に会し、車両43台・団員711人が分列行進や統一された隊形を披露。糸田町の廣房消防団長が「田川地区一丸で住民を守り、消防活動に邁進したい」と力強く訓示し、決意と団結を示しました。



↑勤続35年表彰を受けた第13分団の木下勝義副分団長が町を代表して登壇。

↓左半身の麻痺を補うため、右半身と絶妙なバランスを保ち彫刻する吉田さん。



彫刻歴20年以上の吉田繁俊さん 闘病生活乗り越え再開した仏像彫刻

持病の悪化で一時彫刻を中断していた吉田繁俊さん(宝見)が、9月末に作業を再開しました。現在彫刻中の仏像は、入院前に始めたもの。「闘病とリハビリの日々を乗り越えられたのも妻の支えがあったこと」と感謝を胸に彫り進めるこの仏像は、今月末に2年の歳月を超えて完成の日を迎えようとしています。